

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024 年 12月 30日
事業所名:	夢門塾ゆうゆう津山

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4	3	0	活動に応じて、活動場所を分け、人数を分散して活動を行うなどの環境設定を工夫している。
	②	職員の配置は適切である	4	3	0	短縮授業や長期休みの場合は、配置の工夫が必要になる。
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	1	0	日々の清掃に加え、感染症マニュアルに基づいた換気や消毒を実施している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返りに)、広く職員が参画している	7	0	0	正社員は朝礼時に情報共有を行い、出勤時間の異なる職員には、口頭伝達や引継ぎノートを使い、職員一同の周知を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7			保護者様のご意見を把握し、職員全体で共有し、業務改善を行っている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	7			例年、実施している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7			社内・社外の研修に積極的に参加している。参加できなかった職員に対しても研修記録等を確認し、全職員が周知し、スキル向上に努めている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	7			アセスメントシートや相談支援員の方の計画書を基にケアカンファを行い、利用者様のニーズにあった個別支援計画を作成している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6	1		全職員が案を出し合い、それぞれ正社員を中心に担当を決め、企画を進めていく。また、職員それぞれが意見や改善点を出し合っていく。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	5	1	1	児童指導員を中心に企画・運営を行い、職員会議等でご利用者様のニーズに合わせた取り組みができるように工夫している。同じ活動が続かないように配慮し、新しい活動の提案や状況に応じた活動計画を行っている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7			休日や長期休暇では、平日の時間では取り組めない課題を設定し、社会的スキルを身につけられる内容を取り入れた支援を行っている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	7			基本的には、集団活動を行っているが、ご利用様の状況に合わせて、適宜組み合わせる活動を計画し、実施している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			正社員は、朝礼で情報共有を行っている。出勤時間の異なる職員に関しては出勤時に口頭で伝達を行っている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		1	日々の支援に関しては、ケース記録を記入し、振り返りを行いながら支援の改善につなげている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7			半年に1度モニタリングを行い、計画書の見直しや課題などを共有している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	6	1		職員がガイドラインを理解し、基本活動を複数組み合わせる支援を行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			学校や相談支援専門員方々、保護者様と常に連絡や連携を取り合いながら、情報共有を行っている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	4		訪問や会議等で情報共有を行っている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		7		対象児童なし。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		津山自立支援協議会こども部会に在籍し、情報共有、連携を取っている。積極的に研修等にも参加し、記録等を使って職員全員で共有周知している。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	1		送迎時での保護者様との会話の中で利用者様の発達状況や課題について共通理解するように努めている。また、活動の様子はコドモンを使ってお伝えしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	7			契約時に説明を行っている。質問等も随時応じる様に対応している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	3	4		保護者様のご都合に合わせて、送迎時、来所時、電話等で対応している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	6		開催ができていなかったため、来年以降は保護者様参加型のイベントを積極的に行っていく。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情が発生した場合は迅速に対応を行う。必要に応じて相談支援専門員の方への連絡や今後の対応を行っていく。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	7			毎月、夢通信(行事予定)、夢だより(活動の様子)を発行している。また、ブログでも活動の様子を発信している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	7			契約時に個人情報の説明を行い、同意書を頂いている。マニュアルに基づいて個人情報保護を遵守している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			必要に応じて絵カードやジェスチャーを使って言葉のやりとりを行い、場面に応じて、個別で丁寧に分かりやすく伝達することに配慮している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	5	2		地域の清掃等を行い、事業所を知ってもらう活動はできたが、地域行事への参加は難しかった。今後は、参加可能な場合には地域活動に参加していきたい。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	7		
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7			年に2回避難訓練等を実施している。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			全職員が研修に参加している。適切な対応について職員全体で共通認識を徹底している。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	7			契約時に身体拘束が必要な場合についての説明を行っている。現時点では、身体拘束の必要なケースはない。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7			都度書類に記入して頂き、管理保管し、必ず2名体制で確認を行うことを徹底している。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7			ヒヤリハット報告書を記載し、ミーティングや口頭で職員全体で情報を共有し、再発防止に努めている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

保護者会については、都合を合わせて参加したいや保護者同士の交流をしたいとの声が多くありました。2024年中の開催はできませんでしたが、2025年1月以降は定期的開催し、たくさんの保護者様、職員との交流の機会を増やし、情報共有ができる場を設けて参ります。お子様が楽しく通所していただけのような工夫を凝らし、安心して通って頂けるような環境作りにも努めていきます。今後も保護者様との連携を深め、職員の資質向上にも努めて参ります。